

第九たいはむず *Beethoven*

No.9 2016.7.28. 通刊1199号 担当 Matsu

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

関東地方は梅雨明けから取り残されていましたが、いよいよ本格的な夏の到来です。体調を崩さない様、万全でサマーレッスンに臨みたいものですね。今年の第九はどのように仕上がるのでしょうか…今から楽しみです！

◆ 先週のおさらい

＜主よ 人の望みの喜びよ＞…1723年 BACH 作曲 聖母マリア訪問祝日の 教会カンタータ全10曲の終曲で第10番のコラールです。＜赤羽先生より＞

・言葉が対になっています。その違いを意識して歌いましょう。

⇒ P26 Jesus bleibet meine Freude …＜喜び＞

P27 Jesus wehret allem Leide …＜悲しみ＞

⇒ P26 meines Herzens Trost und Saft …＜直訳は果汁ですが、命の源＞

P27 er ist meines Lebens Kraft …＜ちから＞

＜第九＞

・絶対に切ってはならない所

P35以降の Muß ein lieber Vater wohnen …一息で歌いましょう。muß でカンニングブレスをした後、最初は出しすぎず、息をコントロールしてみてくださいね。

・拍子をそろえましょう

P35, 36の Brüder ! ●Überm Sternenzelt ● Muß ein lieber Vater wohnen

⇒ 1と2と3と ●2と3と 1と2と3と…拍の頭をそろえましょう

◆ 8月21日(日) サマーレッスン・納涼祭の参加申し込み受付中♪

10:00～16:00 全曲のパート練習及び全体練習。会場はシンフォニーホールです。

昼食はデリバリーで幕の内弁当(650円)を注文します。希望の方は申し込み書に代金を添えて、申し込んでください。締め切りは8月11日(木)です。

飲み物は各自でご用意ください。(お弁当を頼まれない方はご自分で昼食の用意をお願いします)

♪サマーレッスン担当: 湯澤さん 都丸さん

17:00～暑さを吹き飛ばす『納涼祭』。今年は会場を「からっ風」に移しました。

参加費@3500円。居酒屋風料理と、飲み放題で貸し切り。食べて飲んで歌って楽しく過ごしましょう。

♪納涼祭担当: 阿藤さん 大里さん

◆ 8月21日(日)の駐車料金について＜重要＞

上記のサマーレッスン、納涼祭のために皆様には一般の有料駐車場を利用いただくこととなりますが、その駐車料金を上限1,000円まで団が負担致します。

必ず領収書を保管し、8月25日(木)の練習日に適当な封筒に入れて持参してください。

封筒の表に「パート・氏名・支払った駐車料金」を明記し、封筒の中に領収書を入れて受付に提出してください。また、領収書の裏にも記名をお願いします！翌週以降支払った実費をお支払い致します。(ただし1,000円以上の場合は1,000円となります。)

◆ 通常の駐車料金の精算について

まとめて提出される方がおられます。出来ましたらこまめに提出していただけると助かります。
7月分までは来週(8月4日)が精算日となりますので申請の準備をお願いします。

◆ 出席簿には必ず押印しましょう

練習会場入り口にある出席簿に必ず押印してくださいね。練習が終わると担当者が空欄に斜線を引いていきます。後日押し直すことはできません。演奏会まで休みなく出席した人には皆勤賞のご褒美がありますよ。ぜひ皆勤賞を目指して練習に参加しましょう。

◆ 名札をつけましょう

お互いに名前を覚えられるように、名札をつけてください。できるだけ大きな文字で、呼んでほしい名前を書きましょう。

◆ 練習用CD販売中です

◎「クリスマスメドレーⅣ」+「ハレルヤ」パート別練習用CDを作成しました。

「クリスマスメドレーⅣ」は、木村先生(ソプラノ)、岸先生(テノール)に新たに歌って頂きました。
前回(2012年)に作成のアルト(木村先生)、バス(住谷先生)も有り、全パート揃いました。
@200円で希望者にお分けしています。ご希望の方は受付(バス大里さん)まで。

◆ 今後の予定(毎週木曜日、演奏会までは祝日も練習があります。)

8月21日(日) サマーレッスン(シンフォニーホール 10~16時)・納涼祭(からっ風)

11月5日(土)~6日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)

11月24日(木) 指揮者レッスン(渡邊一正氏が練習会場で指導します)

12月10日(土) 第43回第九演奏会(群馬音楽センター)

◆ meine unsterbliche Geliebte(不滅の恋人に)

Beethoven の理解を深めるための一助にお役立てください。あの有名な(不滅の恋人)にあてた手紙全文を掲載します。＜赤羽先生より＞

「わが天使、わが全て、わが自己そのものである人よ、私の心はあなたに伝え得ないほど満ち溢れている・・・おお、私がどこにいても、あなたは私と共にいる。・・・おそらく日曜日に来るまでは私からの消息をあなたがお受け取りにはなるまいと考えると私は泣けてくる。——あなたが私を愛してくださるだけ、いや、それよりもずっと強く私はあなたを慕っている・・・ああ！あなたに逢わずに生きているこの生活は味気ない！——(あなたは)こんなに近いのに、こんなに遠い！——・・・私の想いはあなたに向かって飛ぶ、不滅の、わが恋人よ私の想いはときおり歓ばしくてやがて悲しくなり、運命に問いかけ、運命が私たちの望みを叶えてくれるかと尋ねながら飛ぶ。——私はあなただけと共に生きるか、まったく生きないかどちらかだ。・・・あなた以外の女性が私の心を占めることは絶対に、絶対に、絶対に有り得ない。——おお、こんなに慕いながらなぜ別々に生きなければならぬのか？しかも、ウィーンでの私の今の生活はまったくわびしい。あなたへの愛が私を人間の中の最も幸福なものにしたと同時に最も不幸なものにした。——安心していて下さい——安心していて下さい——私を愛して下さい——今日も——昨日も——あなたへの、あなたへの、あなたへの、憧れの涙をどんなに流したことか！——わが生命よ、わが一切よ——さようなら——おお、いつまでも私を愛して下さい。——あなたの愛するL・Bのかかわらぬ心を誤解しないで下さい。この心は永久にあなたのもの、永久に私のもの、永久に私たちふたりのもの。」

(ロマン・ロラン著「Beethovenの生涯」より)

※この記事はあくまでロマン・ロラン著書の当時の解説であり、現在わかっている史実とは異なります。

★★来週号予告★★

来週号には、本記事への赤羽先生のコメントを予定しています。 乞う！ご期待！！